

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第9週)

宮城県【平成27年03月05日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2015.2.23 ~ 3.1 ・ 第9週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第6週	第7週	第8週	第9週
水痘	6 1.20	3 0.30	5 1.00			2 0.40	1 0.50	15 0.58	32 0.55	406	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎								5 0.19	5 0.09	58	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	52 10.40	63 6.30	54 10.80	25 12.50	13 4.33	62 12.40	19 9.50	362 13.92	650 11.21	5,699	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		1 0.10						3 0.12	4 0.07	74	→	→	→	
伝染性紅斑	6 1.20	5 0.50	6 1.20			2 0.40		20 0.77	39 0.67	514	◎→	レ→	○→	○
突発性発しん	1 0.20	1 0.10	3 0.60		2 0.67			10 0.38	17 0.29	226	○→	○→	○→	レ
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	61 7.63	92 6.13	41 5.13	2 0.67	15 3.00	38 4.75	31 7.75	201 4.79	481 5.17	17,071	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	1 0.20					1 0.20		12 0.46	14 0.24	106	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33				1 1.00		1 0.17	3 0.25	21	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	27 2.70	7 1.40	5 2.50	4 1.33	36 7.20	1 0.50	83 3.19	177 3.05	1,298	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎						1 1.00		1 0.08	1 0.08	3	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	3 3.00			1 1.00	1 0.20	6 0.50	65	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症				5 2.50	1 0.33	1 0.20		4 0.15	11 0.19	277	レ→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	2		2	1		1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病													
	不明発疹症							1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※		2					1	3	74				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2015年 第5週	20.6	35.4	20.9	2.5	3.2	5.5	4.2	3.2	2.0	1.6	0.9	2786
第6週	20.0	33.6	23.0	3.0	2.2	5.5	4.8	2.7	2.7	1.5	1.1	1807
第7週	21.5	33.7	20.6	3.3	3.2	5.2	4.2	3.2	2.4	1.6	1.1	1080
第8週	18.4	36.0	21.4	3.0	3.9	5.6	4.3	2.6	2.0	1.6	1.2	695
第9週	15.0	40.3	24.7	2.3	2.5	5.6	2.7	2.5	1.7	1.9	0.8	481

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第7週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では福井県(23.44)、新潟県(21.57)、大分県(20.62)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は547例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(30例)、1～9歳(101例)、10代(20例)、20代(4例)、30代(12例)、40代(6例)、50代(19例)、60代(45例)、70代(92例)、80歳以上(218例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,586例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(0.75)、山形県(0.73)、鹿児島県(0.71)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(6.79)、山形県(5.70)、石川県(5.55)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では宮城県(11.78)、福井県(11.05)、長崎県(10.32)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では神奈川県(0.79)、石川県(0.69)、東京都(0.65)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(1.20)、富山県(0.80)、秋田県(0.63)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。33都道府県から126例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1～4歳(94例)、5～9歳(15例)、10代(2例)、60代(2例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
  - 塩釜管内 男性2名
  - 大崎管内 女性1名
  - 仙台管内 男性2名、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
  - 塩釜管内 女性2名
  - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
  - 石巻管内 男性1名
  - 後天性免疫不全症候群
  - 気仙沼管内 女性1名(第8週)
  - 侵襲性肺炎球菌感染症
  - 仙台管内 男性1名、女性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 9例

### 今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】  
石巻管内で警報継続中。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より  
塩釜管内のO157関連 第9週採取分 O157 1件

インフルエンザ患者より  
塩釜管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスAH3 7件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第7週採取分 (2.9～2.15)	第8週採取分 (2.16～2.22)	第9週採取分 (2.23～3.1)
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	0件	0件
アデノウイルス	0件	1件	0件
ライノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

### 【感染性胃腸炎】

県全体の患者報告数は横ばいですが、集団発生事例の報告もありますので、引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。下記HPを参照・活用ください。

・厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>